

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	15-070	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Moderate red wine consumption is associated with a lower prevalence of the metabolic syndrome in the PREMID population.</p> <p>中等度の赤ワイン飲酒者はメタボリック症候群発症頻度が少ない</p>		
執筆者		
<p>Anna Tresserra-Rimbau, Alexander Medina-Remo'n, Rosa M. Lamuela-Raventós, Monica Bullo', Jordi Salas-Salvado', Dolores Corella, Montserrat Fito', Alfredo Gea, Enrique Gómez-Gracia, José Lapetra, Fernando Aro's, Miquel Fiol, Emili Ros, Luis Serra-Majem, Xavier Pinto', Miguel A. Muñoz, Ramón Estruch.</p>		
掲載誌		
British Journal of Nutrition (2015), 113, 121-130. DOI: 10.1017/S0007114514003262.		
キーワード		PMID
赤ワイン、アルコール、メタボリック症候群		26148915
要 旨		
目的：		
<p>アルコール摂取とメタボリック症候群との関連は研究によって様々であり、統一した見解が得られていない。そこで赤ワイン飲酒とメタボリック症候群、およびその構成因子との関連を、地中海領域に住む心血管リスクの高い中年者を対象に検討する。</p>		
方法：		
<p>PREDIMED (Prevenció'n con Dieta Mediterránea) study に参加した心血管リスクの高い 5,801 名の中年者を対象とした。アルコール飲酒量は FFQ (食物摂取頻度質問) を用いて調査し、メタボリック症候群、およびその構成因子との関連を多変量ロジスティック解析にて横断的に分析を行った。調整因子としては、年齢、性別、BMI、教育レベル、身体活動、エネルギー摂取量を用いた。</p>		
結果：		
<p>赤ワイン非飲酒者と比較して、中等度 (赤ワイン週当たり 100ml 以上) 飲酒者はメタボリック症候群の発症が少なく (OR 0.56, 95% CI 0.45–0.68, P <0.001)、構成因子であるウエスト周囲径高値 (OR 0.59, 95% CI 0.46–0.77, P <0.001)、HDL コレステロール低値 (OR 0.42, 95% CI 0.32–0.53, P <0.001)、高血圧 (OR 0.28, 95% CI 0.17–0.45, P <0.001)、高血糖 (OR 0.67, 95% CI 0.54–0.82, P <0.001) においても有意に関連していた。層別解析において、女性、70 歳以下、喫煙者において特に強い関係が見られた。一方で赤ワイン飲酒と中性脂肪高値の間では有意な関係は認めなかった。</p>		
結論：		
<p>心血管リスクを保有する中年の地中海圏民において、中等度の赤ワイン飲酒はメタボリック症候群の発症率低減と有意に関連していた。</p>		